

4. 連結純資産変動計算書

紀の川市の連結純資産変動計算書の要旨は以下のとおりとなっています。

純資産変動計算書とは、貸借対照表に計上されている純資産額が1年間でどのように変動したかを表している計算書です。

純資産の部は、今までの世代が負担してきた部分です。この純資産変動計算書を見ることで、今までの世代が負担してきた部分が一年間でどのように増減したのかがわかります。（詳細は23ページ参照）

連結純資産変動計算書の要旨

〔 自 平成20年4月 1日
至 平成21年3月31日 〕

(単位:百万円)

| | 普通会計 | 公営事業会計 | 一組・広域 | 公社・三セク | 相殺消去 | 合計 |
|--------------|--------|--------|-------|--------|------|--------|
| 期首純資産残高 | 90,245 | 6,674 | 2,017 | 1,336 | 220 | 97,380 |
| 純経常行政コスト | 20,350 | 4,610 | 2,331 | 301 | | 26,990 |
| 一般財源 | | | | | | |
| 地方税 | 7,119 | 0 | 0 | 0 | | 7,119 |
| 地方交付税 | 8,664 | 0 | 0 | 0 | | 8,664 |
| その他行政コスト充当財源 | 1,597 | 0 | 5 | 0 | | 1,602 |
| 補助金等受入 | 3,397 | 5,301 | 2,762 | 10 | | 11,470 |
| 臨時損益 | 12 | 0 | 6 | 0 | | 18 |
| 出資の受入・新規設立 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 0 |
| 資産評価替えによる変動額 | 4 | 0 | 0 | 0 | | 4 |
| その他 | 0 | 0 | 0 | 0 | | 0 |
| 期末純資産残高 | 90,664 | 7,365 | 2,447 | 1,025 | 220 | 99,231 |
| (1年間の純資産の増減) | 419 | 691 | 430 | 311 | 0 | 1,851 |

公社・三セクの純資産残高がマイナスとなっています。これは、紀の川市土地開発公社が債務超過（所有する資産よりも借入金などの負債が多い状態）となっているためです。平成19年2月に土地開発公社は健全化計画を策定しました。それに基づき市から毎年2億円の経営支援補助を行っています。今後、市からの経営支援に加え、中学校用地売却による資産・負債の圧縮や企業用地等の売却の促進などを行うことで土地開発公社の健全化を図ります。

